年度 2007 学期 後期	曜日·校時 水1/水2	2/水3 必修	選択 必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	韓 国 語				
		KOR	EAN		
対象年次 1年次	講義形態	演習 教室			
対象学生(クラス等) 全学部(時間割参照) 科目分類 外国語科目(韓国語)					
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー					
担当教員: 劉卿美(ゆう・きょんみ)/Eメールアトレス: <u>you-kiss@net.nagasaki-u.ac.jp/</u>					
研究室: 全学教育事務室 2 階/オフィスアワー:月~木、昼休み 水 14:30~17:00					
担当教員(オム					
ニバス科目等)					

授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標

授業のねらい:韓国語 で学んだ**韓国語文の基本しくみ**(語幹+<u>表現形</u>+語尾)に基づきながら、語尾のバリエーションや、日常の生活でよく使う表現形を増やしていきます。身近に使う表現を中心に覚えることで、韓国人と簡単な受け応えができるようにしましょう。

授業方法:授業の前に指定したテキストのページを予め読み、授業に臨んでください。毎回の授業では授業目標 ~ を達成するために、必要不可欠な文法事項を覚えていきます。授業では毎回課題が出されます。授業で習った文法事項を確実に身につけるために、出された課題をもって復習を行ってください。授業中はできるだけ多く、口頭による発音練習を行います。テキストに付いている CD を通してさらに発音練習を行ってください。

授業到達目標: うちとけたニュアンスの語尾が使えるようにしましょう。 日常の生活でよく使う表現形を増やし、韓国人と簡単な受け応えができるようにしましょう。 過去にやったこと、経験したことを言えるようにしましょう。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)

毎回の授業ではまず、その日習う文法事項の説明をします。テキストで形と使い方を確認。プリントを配布し、練習をします。テキストの会話文(36頁第1課~第7課)の練習。1課につき、2回の授業(1回目の授業で発音の確認と練習 CDを通して自学 2回目の授業で指名し、ロールプレイ)。ワン・フレーズハングル(ビデオ)。最後に課題の確認と回収をします。毎回の授業内容については、個人 HP にもアップしていきます。(長崎大学 大学教育機能開発センター 総合案内 スタッフ紹介 劉卿美 個人 HP)

第1回(10/3) おさらい			
第2回(10/10) します 動詞	うちとけたていねいな語尾(80 頁)	第1課	目標
第3回(10/17) いいです 形容詞			
第4回(10/24) 学生であります = 学	生です	第2課	
第5回(10/31) し <mark>に</mark> …し <u>ましょう</u>	目的(80 頁)		目標
第6回(11/7) する <mark>ことができ</mark> ます/3	する <mark>ことができない</mark> です 可能/不可	能(136頁) 第3課	目標
第7回(11/14) し <mark>た</mark> です= <u>し</u> ました	過去(116 頁)		
第8回(11/21) 学生であったです = 5		第 4 課	目標
第9回(11/28) するけれど	逆接		
第10回(12/5) する <mark>ので</mark>	理由	第5課	
第11回(12/12)す <u>るつもり</u> です	意思(154 頁)		
第12回(12/19)さ <mark>れ</mark> ます	敬語 (104 頁)	第6課	
韓国事情			
第13回(1/9) され <u>ないで</u> ください	禁止(148 頁)		
第14回(1/16) きれい <mark>な</mark> お花	連体形(170 頁)	第7課	
第15回(2/6) 定期試験			

キーリード	
教科書·教材·参考書	『基礎から学ぶ韓国語講座・初級編』(木内明・国書刊行会)を引き続き使います。 * テキストや授業中に配るプリントは韓国語 と を通して使うので、毎回持参してください。またプリントは紛失したり混ざったりしないよう、つねに整理することを心がけましょう。
成績評価の方法·基 準等	課題提出 20 %(各課題につき4段階評価をします。遅れて提出された場合は減点されます) 単語テスト 10%(10点満点、3回)授業への取り組み方(授業への参加状況、授業態度など)10%、 定期試験 60%で、総合的に評価します。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
/学習·教育目標	
備考(準備学習等)	